

『哲学の探求』第44号刊行にあたって

いつのまにか裸の木に新芽が顔を出し、続いて葉が茂り始めていることに気付くこのような時候に、本年もみなさまの元へ『哲学の探求』をお届けできることを運営委員一同たいへんうれしく思います。

この『哲学の探求』第44号は、2016年7月16日～17日に開催された「哲学若手研究者フォーラム（以下、若手フォーラム）」でのテーマレクチャー、個人発表、ワークショップに基づいた論文集です。2016年度の若手フォーラムでは、個人発表23件、ワークショップ4件、そして「プラグマティズム」をテーマに石田正人先生（ハワイ大学）、大河内泰樹先生（一橋大学）をお招きしたテーマレクチャーが行われました。参加者は100人を超え、各発表会場は当然のこと、懇親会や宿泊施設でもたくさんの議論が交わされ、発表者もそうでない方も、各自の研究に多くのものを持ち帰ることができたのではないかと思います。

年に一度研究集会を開くことで（昼夜問わず）密に交流し、思いもかけないところで関心を共にする仲間と出会う若手フォーラムは、ひとりで読み書き考えることの多い哲学という研究分野に身を置いている者にとって重要な機会になっていると思います。わたし自身、数年前に一発表者として若手フォーラムに参加した際、ふだんの活動圏内では出会えなかったであろう方々から研究に対してコメントをいただき、お酒を酌み交わすことで、新たな世界の予感に心はずませたときのことをいまでも鮮明に思い出します。「人文学の危機」が声高に叫ばれるいま、若手研究者が集い、対話することが、次の未来につながっていくことを期待しつつ、今後も若手フォーラム、そしてこの『哲学の探求』に多くの実りがもたらされることを運営委員一同心より願っております。

2016年度哲学若手研究者フォーラム運営委員・総務担当 青田麻未